

内閣情報部一二・二二

情報第九號

極秘

滿鐵社員辭職運動益々重大化

一同盟來電「不發表

大連十二日發

十七日總辭職の決意を固めた滿鐵本社幹部は十八日中に全部辭表を人見人事課長の手許に提出すると共に奉天の鐵道總局、天津の北支事務局、撫順炭鐵數十ヶ所の出先各課所長に本社幹部の態度を報告、各出先社員の決意を促す一方東京出張中の松岡總裁以下幹部社員と連絡して、社員會を中心とする一糸亂れざる統制の下に中央の情勢を監視しつつあるが二十一日には奉天鐵道總局及び撫順炭鐵よりそれぞれ代表が百數十名の幹部社員の辭表を攜帶、來連、人事課長の手許に提出した、而して本社に於ては各課主任級も密々協賛を重ねつつあったが幹部の辭職を容認するに忍びず、宜しく我々主任としても又この際辭職平幹部と合流、總辭職を執行すべしとなし、昨日來各所屬課所長の手許に辭表を提出しつつある。この運動は全滿鐵二十萬社員にも波及の恐れを生ずるの形勢を剛致し、専断は極めて悪化の一途を辿りつつある、尙人見人事課長は二十二日飛行機で天津に向つたが、北支

事務局長は逸早く幹部社員の懸念として総退却を決意し居り、局長は中央及び本社的情勢を報告、今後の處置につき協議の上北支各地社員の辭表を取纏めて一兩日中に歸還する事となつた、右につき某幹部は語る
滿鐵社員の總辭職は下級社員に波及の恐れあり、我々幹部としては極力各社員の鎮靜に努めてゐるが、若い元氣者揃ひで修理を盡して泣いて辭表の受理を迫るので、非常に困難に活動してゐるのであるから、どこまでも自分の持場を守り職務を放棄する様な卑怯な振舞は斷じてしない、唯この對國民は安心して貰きたい

内閣情報部二・二二 情報第五號

一長沙支那語放送(二十一日) (熊本遞信局聴取)

湖南省政府主席張治中ハ明晩八時三十分長沙放送局ヨリ(現在ハ如何ナル局面デアルカ)ト題シ講演ヲ行フ事ニナツタ
右ハ張治中ガ湖南ニ來任シテカラ第一回目ノ講演デアル

二、南昌二十日電

敵機ハ二十日正午九江上空ニ襲來百餘彈ヲ投下シタガ民家ヲ破壊シタ外別ニ損害ハナカッタ
敵機ハ更ニ鄱陽湖上空ヲ經テ南昌ト德安ヲ襲撃シタ

三、涪州二十日電

軍界ノ消息ニ依レバ江南方面ノ我ガ某々兩部ハ二十日朝七時遂ニ蕪湖ヲ收復シ、多數ノ敵ヲ斃シ多クノ戦利品ヲ鹵獲シタ、殘敵ハ廣德ニ向ツテ撤退シ我軍ハ勝ニ乘ジテ追撃中デアアル
北方面ニ於テハ我某部ハ二十日朝南樂ヲ收復シタイギニ向ツテ進撃中

四、廣州二十一日電

敵一千名餘ハ依然頑強ニ抵抗シツツアツタガ、我軍二十日夜八時善山市ヨリ約八里ノ石家莊

94